

～5年 地域を愛する「ド木戸キプロジェクト」～

木戸小学校

校区内農家の全面的なバックアップを得たプロジェクト

木戸地域は、以前は、米と野菜づくりが盛んでした。近年は、住宅が増え、農家はどんどん減りました。

地域のよさを知りつくし、安全・安心な米づくり、野菜づくりを続けている長井さんです。



田植えのコツは苗が浮いてこないように、3本の指で苗を植え付けることなのかな。長井さんの説明は分かりやすい!



長井照雄さんは校区内で数少ない農家のお一人。米と野菜の無農薬有機栽培に取り組んでおられます。木戸小学校のために田んぼを貸して下さり、春には田植えを秋には稲刈りの体験をさせてくださっています。



田植え

学校田は、学校から徒歩で10分程度の場所にあります。芭木戸線から、少し住宅街の中に入るとあるのです。周りは、アパート・マンション・住宅などで囲まれています。田植えや稲刈りも、学校支援ボランティアの方や保護者の方にも見守っていただきながら行うことができました。学校の近く、しかも住宅街の中で、地域の方と一緒に体験をさせていただけるなんて私たちは幸せです。



長井さんを招いて学んだことを地域の人にも伝える「米米プロジェクト発表会・おにぎりパーティー」を実施しました。

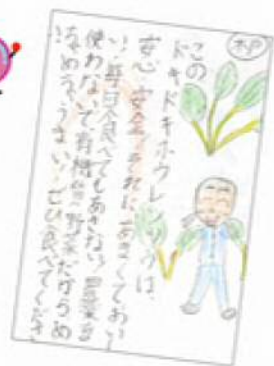


ド木戸キ米は給食でも出してほしい、昼の放送で米の作り方や長井さんについて紹介しました。もっとたくさんの人に食べて欲しいので、少しずつ袋分けをしました。

5年生が長井さんに教えてもらいながら作った「ド木戸キ米」だ!おうちでも食べられるぞ。



私たちは、社会科の学習でも農業について学んでいます。長井さんが米づくりだけでなく、野菜でも無農薬有機栽培を行っていることを知り、長井さんのこだわり農業について、更に深く考えるようになりました。



「ド木戸キ野菜」の出荷にも立ち会い、野菜を乗せたトラックをみんなで見送りました。

長井さんの有機栽培野菜を食べてみてとてもおいしかったので、長井さんが県内外に出荷する野菜に、学んだことを記録したメッセージカードを入れてもらいました。名付けて「ド木戸キ野菜」です。

● 子どもの声 ●



普通のピーマンやほうれん草より、長井さんの作った有機栽培野菜の方が大きくて甘いので、特別に美味しいということをポスターにかきました。ぼくのポスターを読んだ1年生にもおいしさが伝わるといいなと思いました。



長井さんが無農薬有機栽培を始めたのは奥さんのアトピーを治したいという思いが理由だったそうです。それを聞いただけでも、長井さんのやさしさが伝わってきて、ファンになりました。

● 保護者の声—「ド木戸キ米」の感想 ●



いただいたド木戸キ米はあまくてしっとりしていました。「おいしい!」と言って食べていると5年生の息子が「有機栽培だもん!」と自慢げに話してくれました。ありがたさがわかる体験ができたことをうれしく思いました。